

本年度学校教育の努力点とその推進計画

1 山王中学校の学校教育の努力点について

(1) 昨年度の成果

昨年度は、テーマを『「互いに認め合い 学びを深めよう」～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの実現～』と設定し、授業実践に取り組んだ。その際に、何を学ぶのか「学習内容」を明確にした上で、「自分の考えをもつ」「仲間と対話をして考えを深める」ことができるように手だてを考えた。また、全ての授業実践ではないが、効果的な「ICTの活用」も考えた。

実践の結果、「自分の考えをもつ手だて」により、生徒が考えやすくなり、一人一人が自分なりの考えをもつことができた。「仲間と対話をして考えを深める手だて」により、思考が促され、仲間との対話が活発になり、自分の考えが正しいことを確信したり、見直したりして考えを深めることにつながった。自分の考えをもつ、仲間の考えを共有するといった場面で、ICTの活用も考えることができた。

また、学校生活アンケートの学校努力点についての設問「授業において、自分の考えをもったり、仲間と対話して考えを深めたりしている。また、タブレットの活用もできている」において、「よく当てはまる」「やや当てはまる」と感じている保護者は、70%以上であった。生徒の回答では、90%を超える回答を得ることができた。

(2) 今年度の努力点について

今年度より「ナゴヤ学びのコンパス」に示された内容について、市内の各学校で取り組んでいく。「ナゴヤ学びのコンパス」には、「自分に合ったペースや方法で学ぶ」といったことが示されており、これは、生徒の興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じて、探究における課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現を行う「総合的な学習の時間」での学びと合致している。そこで、今年度は「総合的な学習の時間」の授業づくり（カリキュラムの作成）に取り組み、昨年度と同様に、生徒が互いに認め合って、学びを深めていくことができるようにする。その授業づくりでの課題の設定や課題の追究においては、昨年度の「自分の考えをもつ手だて」の成果を生かすことができると考える。

ICT活用については、昨年度、課題が残り、今年度は生徒同士の考えの共有や振り返りの場面で活用がもっとできると、自分の考えをさらに深めることができると考える。

また、名古屋市のキャリア教育の推進に向けた取組として、今年度より、市内の各学校で「キャリアタイム」が実施される。市内中学校・高等学校・特別支援学校には、キャリアナビゲーターの配置が進められている。本校は、昨年度よりキャリアナビゲーターが配置され、本校のキャリア教育を推進している。特に、各学年の総合的な学習の時間において、生徒が自分らしい生き方を探究できるように、教師と共にカリキュラムを作成している。

以上のことから、次ページのように努力点のテーマ、重点を設定し、各学年、特別支援学級における授業実践に取り組むことにした。

＜努力点のテーマ＞

「互いに認め合い 学びを深めよう」
～ キャリア教育を通して自分らしい生き方を探究しよう ～

＜努力点の重点＞

- 「総合的な学習の時間」キャリア教育の授業づくり（カリキュラムの作成）
- 考えの共有や振り返りの場面でのICTの活用

(3) 努力点推進の具体化

① 「総合的な学習の時間」キャリア教育の授業づくり（カリキュラムの作成）

- 各学年の次の単元（仮の単元名）について授業づくりを行う。

1年：SDGsの取組	2年：キャリアプランニング	3年：修学旅行都内分散
------------	---------------	-------------

- カリキュラムの作成について

「学習の個性化」を考え、課題の設定、課題の追究（情報の収集・整理・分析）、課題の追究（まとめ・発表）の3段階で作成する。

② 考えの共有や振り返りの場面でのICTの活用

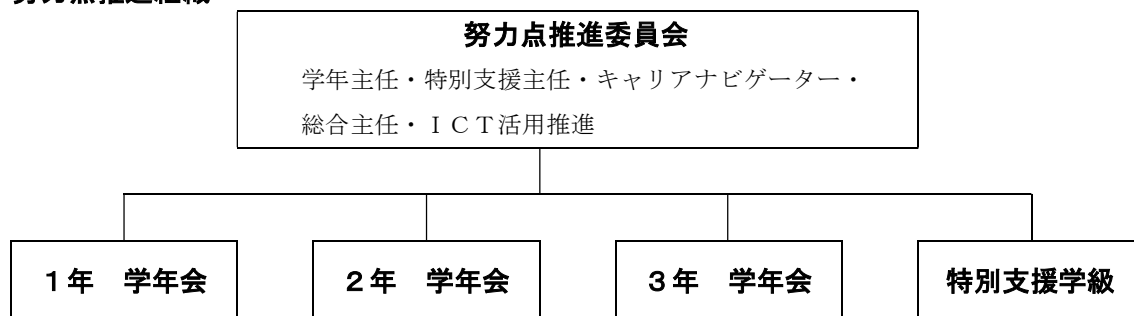
- 共有の場面でのICT活用（パワーポイント、ロイロの共有ノート）

- ・ 似た課題を設定した生徒同士で考えを共有する。
- ・ 集めた情報を共有する。
- ・ まとめ方を共有する。

- 振り返りの場面でのICT活用

- ・ 意図的な振り返り（スタディログ）の記録。
- ・ 次の学びにつながる振り返り（スタディログ）の共有。

(4) 努力点推進組織



(5) 努力点推進の方法および年間計画

- 4月2日(火)努力点推進委員会にて各学年での具体的な内容を協議
- キャリナビの協力を受けて、カリキュラムを作成
- 6月6日(木)現職教育「キャリア教育についての講演会」と「ICTの活用について」
- 学年会でのカリキュラムの検討 → カリキュラムの提示（不十分なものでよい）
- 授業実践（公開・ビデオ撮り→現職教育）
- 10月の現職教育「10月までの取組についての報告」
- カリキュラムの手直し
- 3月の努力点推進委員会（本年度の取組の反省と次年度の実践に向けて）

(6) 努力点推進の発表について

- 学校だよりにて、今年度の取組について知らせる。
- 学年通信で取組について知らせる。→ ホームページへのアップ
課題の設定、課題の追究（情報の収集・整理・分析）、課題の追究（まとめ・発表）の3回ほど作成する。